

園芸 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 H1 組～ A 組

教科担当者：（H1組：池満 栄太）（H2組：池満 栄太）（F組：池満 栄太）（A組：池満 栄太）

使用教科書：（『わたしたちの地理総合 世界から日本へ』（二宮書店））

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】
- 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解しているとともに、地図やGISなどを用いて諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、相互依存作用などに着目しつつ概念などを活用し、多角的、多面的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについて自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 地図とGISの活用 【知識・技能】 地図の読図などを基に、地図や地理情報システム（GIS）の役割や有用性などについて理解している。地図やGISを用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力】 地図やGISについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性】 地図やGISを活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・球面上の世界 ・国家の領域と領土問題 ・国内や国家間の結びつき ・日常生活のさまざまな地図	【知識・技能】 地図の読図などを基に、地図や地理情報システム（GIS）の役割や有用性などについて理解している。地図やGISを用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地図やGISについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性】 地図やGISを活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		
	2 生活文化の多様性と国際理解 【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解し、人々の生活文化が、自然環境や、社会環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力】 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性、変容、国際理解について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	・自然環境と生活文化 ・産業の発展と生活文化	【知識・技能】 ・ケッペンの気候区分と植生分布の関連性を理解し、自然環境が人々の生活文化や産業、伝統の形成などに深く関わり、また諸要素が相互に関連しあっていることを理解している。 ・地形図や雨温図、主題図、写真から情報を読み取り、地形・気候の特徴や土地利用、経済活動の発展を捉えることができる。 【思考力、判断力、表現力】 ・地形や気候のなりたちについて、その成因と分布の特徴を世界的視野から考察できる。 ・ケッペンの気候区分から各気候分布の規則性を捉え、生活文化や産業との関連性を比較しながら共通点や相違点を考察し、整理して表現することができる。 ・地形を活かした人々の暮らしの特徴・自然環境と人々の生活文化の関係性について、写真や地形図、雨温図、主題図などから捉え、複数の資料を関連させながら考察し、説明できる。 【学びに向かう力、人間性】 ・世界の地形・気候のなりたちと生活文化・産業とのかかわり、我が国の国土に関する諸課題、諸資料の読み取りについて、興味・関心をもち、意欲的に授業に臨んでいる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	

2 学 期	2 生活文化の多様性と国際理解 【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解し、人々の生活文化が、自然環境や、社会環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力】 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性、変容、国際理解について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	・言語・宗教と生活文化 ・グローバル化の進展と生活文化	【知識・技能】 ・世界の言語・宗教の特徴を理解し、生活文化との関係やそれらが関わる現代社会の諸課題の背景や現状を、資料から読み取ることができる。 ・世界の多様性と日本とのつながりを考え、異文化を尊重する態度が重要であることを理解できる。 ・地域統合やグローバル化による成長と課題、生活文化の変容について、主題図や写真などの資料から読み取ることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・世界の言語・宗教、民族の空間的な分布とその要因、それらに関わる現代世界の諸課題を考察し、自然環境や歴史的背景と関連させて考察している。 ・現代世界における言語・宗教について、グローバル化や情報化によって自身の生活も含めて、変容している部分と変容していない部分を比較したり、多文化共生社会について事例を整理・考察しまとめている。 【学びに向かう力、人間性】 ・世界の言語・宗教の多様性、民族と生活文化に関わる現代世界の諸課題について、日本との関わりにも興味・関心をもち、それらについて諸資料から積極的に調べようとしている。 ・多文化共生社会の実現方法や地域統合、グローバル化の在り方について議論し、自分の意見をまとめている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	3 地球的課題と国際協力 【知識・技能】 世界各地で見られる環境や食糧問題などを基に、地球的課題の共通点や相互の関連性を理解し、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力】 世界各地で見られる地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりに着目し、主題を設定したうえで、多面的・多角的に考察し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性】 持続可能な社会と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	・人口・食料問題 ・居住・都市問題 ・資源・エネルギー問題 ・地球環境問題	【知識・技能】 世界各地で見られる環境や食糧問題などを基に、地球的課題の共通点や相互の関連性を理解しており、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 世界各地で見られる地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりに着目し、主題を設定したうえで、多面的・多角的に考察し、表現できている。 【学びに向かう力、人間性】 持続可能な社会と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	14
3 学 期	定期考査			○	○	○	1
	4 生活圏の諸課題 【知識・技能】 ・生徒の生活圏の自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりについて理解する。 ・様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図などの各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技術を身に付ける。 ・私たちのまちの防災対策について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。 【思考力、判断力、表現力】 ・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、「生活圏の地域性を踏まえた防災対策」などの主題を設定し、「自然災害に備えるために、私たちはどのような対策を取るべきか」などを、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性】 持続可能な社会と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	・自然環境と防災 ・持続可能な地域づくり	【知識・技能】 ・日本列島の地形や気候の成り立ちと多様性、災害、地域の特徴などについて、主題図やグラフ、写真などの資料から理解できる。 ・自分の生活圏における防災や減災の取り組みについて、新旧地形図やハザードマップなどを読み取ったり、地域調査の一連の手順を理解し、生活圏の課題を見つめたりする技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力】 ・日本列島における自然災害の要因と特徴、地域性を考察し、世界の災害と比較しながら課題の所在について考察できる。 ・自らの生活圏について、新旧地形図やハザードマップ、GISなどを活用しながら防災・減災について考察したり、身近な地域の魅力や課題を見出したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性】 ・身近な地域にさまざまな魅力や課題があることを見い出し、意欲的に地域調査に取り組んでいる。 ・身近な地域の将来構想案を検証するために、現地調査や資料による事後調査を主体的に行い、探究することができる。	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70

園芸 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科 地理歴史 科目 歴史総合 単位数 2 単位

対象学年組 第 3 学年 H1 組 H2 組 F 組 A 組

教科担当者 (H1組: 池満 栄太) (H2組: 池満 栄太) (F組: 池満 栄太) (A組: 池満 栄太)

使用教科書 『歴史総合』(実教出版)

教科 地理歴史 の目標

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 歴史総合 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、多面的・多角的に考察する。	我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 歴史と私たち 【知識及び技能】 近代化に関わる史資料を読み解く技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、近代化を読み解く問いを表現している。	・問い 私たちの身近にあるものには、どのような歴史や世界との結び付きがあるのだろうか。	【知識・技能】 身の回りの事象と世界の歴史がつながっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 身の回りの事象と世界の歴史とのつながりについて考察し、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りの事象と世界の歴史とのつながりについて考察し、その変化の要因を追究しようとしている。	○	○	○	4
	単元 江戸時代の日本と結び付く世界 【知識及び技能】 18世紀における清を中心としたアジアの国際秩序やヨーロッパ諸国との交易について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 銀の動きに着目し、清と近隣諸国、ヨーロッパ諸国との交易の特徴について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 大西洋三角貿易がアフリカとアメリカに残した課題について考察し、表現している。	・問い 18世紀の日本やアジア、ヨーロッパは、それぞれどのように結び付いていたのだろうか。 ・指導事項 ①アジアの中の江戸幕府 ②成熟する江戸社会 ③清の繁栄と結び付く東アジア ④アジア・アメリカに向かうヨーロッパ ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について理解している。 【思考・判断・表現】 「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	単元 欧米諸国における近代化 【知識及び技能】 産業革命の進行と、その結果確立した資本主義による社会の変化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 産業革命による社会の変化に着目し、現代につながるどのような問題が生じたかを考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な革命が現代社会に与えた課題を考察し、解決策を追究しようとしている。	・問い 欧米で起こった市民革命・産業革命により、社会はどのように変化したのだろうか。 ・指導事項 ①イギリスの革命とアメリカの独立 ②フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け ③フランス革命の影響と国民意識の芽生え ④産業革命で変わる社会 ⑤イギリスの繁栄と国際分業体制 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解している。 【思考・判断・表現】 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 市民革命や産業革命が現代社会に与えた課題について、解決策を追究しようとしている。	○	○	○	6
	単元 近代化の進展と国民国家形成 【知識及び技能】 国民国家の形成について、ナショナリズムの運動に着目して理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 1848年～近代ヨーロッパにおける近代化の経緯について考察し、その特徴を表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国民国家の形成や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について考察し、解決策を追究しようとしている。	・問い 近代化が進むなかで、欧米諸国はどのような国家を形成していったのだろうか。 ・指導事項 ①1848年～近代ヨーロッパの転換点 ②イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化 ③アメリカの拡大と第2次産業革命 ④帝国主義と世界の一体化 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究しようとしている。	○	○	○	6
	単元 アジア諸国の動揺と日本の開国 【知識及び技能】 ヨーロッパの進出に対し、オスマン帝国、エジプト、イランの3国がそれぞれどのような対応をとったのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 清と日本の欧米諸国への対応における相違点をあげ、その理由について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米諸国の進出に伴うアジア社会の変容が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。	・問い 近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのだろうか。 ・指導事項 ①「西洋の衝撃」と西アジアの変化 ②南・東南アジアの植民地化 ③ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争 ④黒船と日本の対応 ⑤新体制と江戸幕府の滅亡 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】 アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、追究しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	単元 近代化が進む日本と東アジア 【知識及び技能】 日本が、明治維新の諸改革によって急速に近代化を進めたことについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 明治維新の前後で国の仕組みと身分制がどのように変化したかを考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。	・問い 日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変化していったのだろうか。 ・指導事項 ①新政府の誕生 ②近代国家を目指す日本 ③日本と清の近代化と日清戦争 ④列強の進出と日露戦争 ⑤日露戦争が与えた影響 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】 明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し、解決策を追究しようとしている。	○	○	○	6
	単元 第一次世界大戦と日本の対応 【知識及び技能】 第一次世界大戦が総力戦化した構造を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の特徴と戦争の被害が拡大した要因について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦に伴う様々な変化が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。	・問い 第一次世界大戦は、日本を含む世界の人々にとってどのような戦争になったのだろうか。 ・指導事項 ①ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 ②総力戦となった第一次世界大戦 ③ロシア革命と大戦の終結 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現在の社会につながるどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
	単元 国際協調と大衆社会の広がり 【知識及び技能】 大戦後のヨーロッパで、平和を模索する国際秩序が構築されたことと大衆による政治参加が進んだことについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 大戦後、各国で大衆の政治参加が進んだ理由について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。	・問い 欧米や日本など、世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったのだろうか。 ・指導事項 ①ヴェルサイユ体制の成立 ②東アジアの民族自決の行方 ③中東、インドの民族自決の影響 ④ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 ⑤大衆社会の出現とアメリカの繁栄 ⑥日本における大衆社会の形成 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化を理解している。 【思考・判断・表現】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し、その解決策について追究しようとしている。	○	○	○	6
単元 日本の行方と第二次世界大戦 【知識及び技能】 ヨーロッパでの戦いから、アジア・太平洋にも及ぶ戦争に発展する経緯に着目して理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 なぜ第二次世界大戦では多くの犠牲者が出ることになったのかを考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 大衆の戦争参加が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。	・問い 大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのだろうか。 ・指導事項 ①世界恐慌が与えた影響 ②ファシズムの台頭と拡大 ③政党政治に断絶と満州事変 ④日中戦争の始まり ⑤第二次世界大戦の展開 ⑥戦局の悪化と被害の拡大 ⑦第二次世界大戦の終結とその惨禍 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら理解している。 【思考・判断・表現】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、ドイツや日本で大衆がなぜ戦争に協力していったのかを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 大衆の戦争への加担という問題を現代社会における課題としてとらえ、その解決策を追究しようとしている。	○	○	○	6	
定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	単元 再出発する世界と日本 【知識及び技能】 日本とドイツに対する連合国の戦後処理の目的と結果、および国際連合を中心とした国際平和協力について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦がヨーロッパ諸国に及ぼした影響について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 2度の世界大戦が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。	・問い 第二次世界大戦を経て、国際秩序はどのように変化していったのだろうか。 ・指導事項 ①戦後の新たな国際秩序 ②冷戦の始まり ③日本撤退後の東アジア ④日本の改革と独立の回復 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 冷戦および冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】 国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際関係を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制における課題が、現代社会にどのような影響を与えているかについて考察し、解決策を追究しようとしている。	○	○	○	7
	単元 冷戦で揺れる世界と日本 【知識及び技能】 高度経済成長に至る経緯を、55年体制や冷戦に着目して理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 日本が高度経済成長を達成することができた要因を国内外の情勢と関連させて考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦期における各国の動向を踏まえ、現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。	・問い 冷戦が展開されるなかで、日本や世界の国々はどのような選択をしたのだろうか。 ・指導事項 ①アメリカ・ソ連の緊張と緩和 ②冷戦下における日本の復興 ③第三勢力の形成と脱植民地化 ④中東戦争とパレスチナ問題 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 55年体制の形成から高度経済成長に至る日本の動きを、冷戦下の国際情勢を踏まえながらその中に位置づけて理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦下の日本と世界の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦期における各国の動向、現在の社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し、解決策について追究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
							70

園芸 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

地理歴史 科目 歴史演習

教科： 地理歴史 科目： 歴史演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 金曜選択

教科担当者：（金曜選択：池満 栄太

使用教科書： なし

教科 地理歴史	の目標：
【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 歴史総合	の目標：
【知識及び技能】	必修科目である地理総合と歴史総合で学んだ内容を関連させることで、様々な社会課題への取組などを理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	必修科目である地理総合と歴史総合で学んだ内容に着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	単元 近現代の問題演習 【知識及び技能】 近現代の世界及び日本の歴史について、テーマごとに因果関係を理解する。 近代化に関わる史資料を読み解く技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 近代化に関わる史資料から得た情報と、必修科目で身に付けた知識・技能を統合し、近代化についての各テーマ史を世界と日本を結び付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 近代化に関わる課題について、主体的に追究し、課題を見いだす。	・ 近現代の問題演習 ①近現代の政治史、文化史、経済史などのテーマ史の概説 ②近現代の政治史、文化史、経済史などのテーマ史の演習問題	単元 近現代の問題演習 【知識及び技能】 近現代の世界及び日本の歴史について、テーマごとに因果関係を理解している。 近代化に関わる史資料を読み解く技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 近代化に関わる史資料から得た情報と、必修科目で身に付けた知識・技能を統合し、近代化についての各テーマ史を世界と日本を結び付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近代化に関わる課題について、主体的に追究し、課題を見いだそうとしている。	○	○	○	28
2 学 期	単元 東京世田谷区の歴史と地理 【知識及び技能】 東京世田谷区の歴史と地形の特徴と地誌を理解する。 東京世田谷区の歴史と地理について、人々の生活と当時の資料（映像・文書・絵画等）読み解く技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 東京世田谷区の歴史と地理について、自身の生活と歴史を結び付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 東京世田谷区の歴史と地理について、主体的に追究し、課題を見いだす。	・ 近現代の問題演習 ①江戸時代～第2次世界大戦までの東京・世田谷区の歴史の推移 ②第2次世界大戦～現在までの東京・世田谷区の歴史の推移 ③東京都・世田谷区の地形・地誌	単元 東京世田谷区の歴史と地理 知識及び技能 東京世田谷区の歴史と地形の特徴と地誌を理解している。 東京世田谷区の歴史と地理について、人々の生活と当時の資料（映像・文書・絵画等）読み解く技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 東京世田谷区の歴史と地理について、自身の生活と歴史を結び付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 東京世田谷区の歴史と地理について、主体的に追究し、課題を見いだそうとしている。	○	○	○	34
3 学 期	単元 フィールドワーク 【知識及び技能】 世田谷区周辺の歴史的と地理的特徴の把握し理解する。 フィールドワークの調べ方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 世田谷区周辺の歴史と地理の特徴とその関係について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 東京世田谷区の歴史と地理の特徴とその関係について、主体的に追究し、課題を見いだす。	・ 世田谷周辺のフィールドワーク ①世田谷区周辺のフィールドワークを行い、世田谷区の地理と歴史の関係をまとめる。	【知識及び技能】 世田谷区周辺の歴史的と地理的特徴の把握し理解する。 フィールドワークの調べ方などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 世田谷区周辺の歴史と地理の特徴とその関係について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 東京世田谷区の歴史と地理の特徴とその関係について、主体的に追究し、課題を見いだそうとしている。	○	○	○	8
							合計
							70

園芸 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年

教科担当者： H1・H2・F・A組（堀 良輔）

使用教科書：（『公共』（実教出版））

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、様々な資料から必要な情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 現代社会の諸課題の解決に向けて、様々な資料や情報を多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成及び社会参画を課題として、構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を目指して、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会の諸課題に関する事柄などを理解しているとともに、政治や経済、青年心理や先哲の思想および宗教に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけている。	政治や経済、青年心理や先哲の思想および宗教に関わる社会的事象に着目しつつ、概念などを活用し、多角的、多面的に考察したり、現代社会の諸課題の解決に向けて構想、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、民主主権を担う公民として、自国を愛し、各国民が協力し合うことの大切さの平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、についての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 公共の扉（倫理・政治） 【知識・技能】 青年心理や先哲の思想および宗教や民主政治について理解している。様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力】 青年心理や先哲の思想および宗教や民主政治について様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性】 青年心理や先哲の思想および宗教や民主政治について様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・社会を作る私たち ・人間としてよく生きる ・他者とともに生きる ・民主社会の倫理 ・民主国家における基本原理	【知識・技能】 青年心理や先哲の思想および宗教や民主政治について具体的な内容を理解している。原典資料や学習内容に関係する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 青年心理や先哲の思想および宗教や民主政治について原典資料や学習内容に関係する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性】 青年心理や先哲の思想および宗教や民主政治について原典資料や学習内容に関係する様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		
	2 日本国憲法の基本的性格 【知識及び技能】 日本国憲法の成立過程や人権規定について理解している。条文や判例等様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 日本国憲法の成立過程や人権規定について条文や判例等様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 日本国憲法の成立過程や人権規定について条文や判例等様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・日本国憲法の成立 ・日本国憲法の基本的性格 ・人権規定 ・平和主義と防衛	【知識・技能】 日本国憲法の成立過程や人権規定について具体的な内容を理解している。条文や判例等、学習内容に関係する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日本国憲法の成立過程や人権規定について条文や判例等、学習内容に関係する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本国憲法の成立過程や人権規定について条文や判例等、学習内容に関係する様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	17
	3 日本の政治機構と政治参加 【知識及び技能】 日本国憲法における統治機構の諸規定や諸課題について理解している。条文や判例等様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 日本国憲法における統治機構の諸規定や諸課題について条文や判例等様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 日本国憲法の成立過程や人権規定について条文や判例等様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・政治機構と国会 ・行政 ・地方自治 ・政党政治と選挙 ・政治参加	【知識・技能】 日本国憲法における統治機構の諸規定や諸課題について具体的な内容を理解している。条文や判例等、学習内容に関係する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日本国憲法における統治機構の諸規定や諸課題について条文や判例等、学習内容に関係する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本国憲法における統治機構の諸規定や諸課題について条文や判例等、学習内容に関係する様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	
	定期考査			○	○		

2 学 期	4 現代の経済社会 【知識及び技能】 現代の経済社会の特質や課題について理解している。統計データや経済活動に関する諸資料等、様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の経済社会の特質や課題について理解している。統計データや経済活動に関する諸資料等、様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の経済社会の特質や課題について統計データや経済活動に関する諸資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・経済主体と経済活動の意義 ・市場のしくみ ・企業 ・国民所得 ・経済成長と国民の福祉 ・金融 ・日本の財政	【知識・技能】 現代の経済社会の特質や課題について具体的な内容を理解している。統計データや経済活動に関する諸資料等、学習内容に關係する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 現代の経済社会の特質や課題について統計データや経済活動に関する諸資料等、学習内容に關係する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の経済社会の特質や課題について統計データや経済活動に関する諸資料等、学習内容に關係する様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	9
	定期考查			○	○		1
	4 日本経済の特質と国民生活 【知識及び技能】 日本経済とわれわれの生活とのかかわりについて理解している。統計データや経済活動に関する諸資料等、様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 日本経済とわれわれの生活とのかかわりについて理解している。統計データや経済活動に関する諸資料等、様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 日本経済とわれわれの生活とのかかわりについて統計データや経済活動に関する諸資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・戦後日本経済 ・経済社会の変化と中小企業 ・消費者問題 ・労働問題 ・社会保障制度	【知識・技能】 日本経済とわれわれの生活とのかかわりについて具体的な内容を理解している。統計データや経済活動に関する諸資料等、学習内容に關係する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日本経済とわれわれの生活とのかかわりについて統計データや経済活動に関する諸資料等、学習内容に關係する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本経済とわれわれの生活とのかかわりについて統計データや経済活動に関する諸資料等、学習内容に關係する様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	9
	定期考查			○	○		1
3 学 期	4 国際政治・経済の動向と課題 【知識及び技能】 国際政治・経済の現状や諸課題について理解している。原典資料や統計データ等、様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 国際政治・経済の現状や諸課題について理解している。原典資料や統計データ等、様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 国際政治・経済の現状や諸課題について原典資料や統計データ等を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・国際法 ・国際機構 ・現代の国際政治 ・人種民族問題 ・貿易と国際収支 ・外国為替市場 ・国際経済の歴史と展開 ・地域的経済統合 ・現代の国際経済	【知識・技能】 国際政治・経済の現状や諸課題について具体的な内容を理解している。原典資料や統計データ等、学習内容に關係する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 国際政治・経済の現状や諸課題について原典資料や統計データ等、学習内容に關係する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際政治・経済の現状や諸課題について原典資料や統計データ等、学習内容に關係する様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	9
	6 持続可能な社会づくり 【知識及び技能】 現代社会の諸問題について理解している。原典資料や統計データ、また現代社会の諸問題に関する様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会の諸問題について理解している。原典資料や統計データ、また現代社会の諸問題に関する資料等、様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の諸問題について原典資料や統計データ、また現代社会の諸問題に関する資料等を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・貧困問題 ・環境問題	【知識・技能】 現代社会の諸問題について具体的な内容を理解している。原典資料や統計データ、また現代社会の諸問題に関する資料等、学習内容に關係する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 現代社会の諸問題について題について具体的な内容を理解している。原典資料や統計データ、また現代社会の諸問題に関する資料等、学習内容に關係する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会の諸課題について具体的な内容を理解している。原典資料や統計データ、また現代社会の諸問題に関する資料等、学習内容に關係する様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	9
	定期考查			○	○		1 合計 70

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民 科目 倫理

教科：公民 科目：倫理

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 選択

教科担当者：堀 良輔

使用教科書：（「高等学校 新倫理」（清水書院））

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、様々な資料から必要な情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】現代社会の諸課題の解決に向けて、様々な資料や情報を多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成及び社会参画を課題として、構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を目指して、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 倫理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめることができる。	・自立した人間として、他者と共によりよく生きる自己の生き方について、より深く思索することができる。 ・現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、理論的に思考し、説明したり対話したりすることができる。	・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしている。 ・多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	心理学と自己のかかわり 【知識及び技能】 心理学の基礎的な内容や、心理学と自分自身のかかわりについて理解している。 様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 心理学の基礎的な内容や、心理学と自分自身のかかわりについて理解している。 様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 心理学の基礎的な内容や、心理学と自分自身のかかわりについて様々な資料を活用し、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・心の機能と個性 ・パーソナリティの形成 ・認知のしくみ ・発達心理	【知識・技能】 心理学の基礎的な内容や、心理学と自分自身のかかわりについて具体的な内容を理解している。原典資料や学習内容に關係する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 心理学の基礎的な内容や、心理学と自分自身のかかわりについて原典資料や学習内容に關係する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性】 心理学の基礎的な内容や、心理学と自分自身のかかわりについて原典資料や学習内容に關係する様々な資料を活用し、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	9
	ギリシア思想と自己のかかわり 【知識及び技能】 ギリシア思想の基本的内容や、ギリシア思想と自分のかかわりについて理解している。 様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 ギリシア思想の基本的内容や、ギリシア思想と自分のかかわりについて理解している。 様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ギリシア思想の基本的内容や、ギリシア思想と自分のかかわりについて様々な資料を活用し、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・哲学の起源 ・ソクラテスの思想 ・プラトンの思想 ・アリストテレスの思想 ・ヘレニズム思想	【知識・技能】 ギリシア思想の基本的内容や、ギリシア思想と自分のかかわりについて具体的な内容を理解している。原典資料や学習内容に關係する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ギリシア思想の基本的内容や、ギリシア思想と自分のかかわりについて原典資料や学習内容に關係する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性】 ギリシア思想の基本的内容や、ギリシア思想と自分のかかわりについて原典資料や学習内容に關係する様々な資料を活用し、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
	キリスト教・イスラーム教と自己のかかわり 【知識及び技能】 キリスト教やイスラーム教の基本的内容や、キリスト教やイスラーム教と自分のかかわりについて理解している。 様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 キリスト教やイスラーム教の基本的内容や、キリスト教やイスラーム教と自分のかかわりについて理解している。 様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 キリスト教やイスラーム教の基本的内容や、キリスト教やイスラーム教と自分のかかわりについて様々な資料を活用し、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・ユダヤ教 ・イエスの思想 ・世界宗教への展開 ・イスラーム教	【知識・技能】 キリスト教やイスラーム教の基本的内容や、キリスト教やイスラーム教と自分のかかわりについて具体的な内容を理解している。原典資料や学習内容に關係する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 キリスト教やイスラーム教の基本的内容や、キリスト教やイスラーム教と自分のかかわりについて原典資料や学習内容に關係する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性】 キリスト教やイスラーム教の基本的内容や、キリスト教やイスラーム教と自分のかかわりについて原典資料や学習内容に關係する様々な資料を活用し、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	7
	仏教・儒教と自己のかかわり 【知識及び技能】 仏教や儒教の基本的内容や仏教や儒教と自分のかかわりについて理解している。 様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 仏教や儒教の基本的内容や仏教や儒教と自分のかかわりについて理解している。 様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 仏教や儒教の基本的内容や仏教や儒教と自分のかかわりについて様々な資料を活用し、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・バラモン教 ・仏陀の思想 ・仏教とその後の展開 ・儒家の教え ・儒教の展開 ・道家の思想	【知識・技能】 仏教や儒教の基本的内容や仏教や儒教と自分のかかわりについて具体的な内容を理解している。原典資料や学習内容に關係する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 仏教や儒教の基本的内容や仏教や儒教と自分のかかわりについて原典資料や学習内容に關係する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性】 仏教や儒教の基本的内容や仏教や儒教と自分のかかわりについて原典資料や学習内容に關係する様々な資料を活用し、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

2 学 期	人間の尊厳と自己のかかわり 【知識及び技能】 ルネサンスやヒューマニズム、宗教改革の基本的内容やその歴史的意義について理解している。 様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力・判断力・表現力等】 ルネサンスやヒューマニズム、宗教改革の基本的内容やその歴史的意義について理解している。 様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ルネサンスやヒューマニズム、宗教改革の基本的内容やその歴史的意義について様々な資料を活用し、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・ルネサンスとヒューマニズム ・宗教改革 ・宗教改革の展開	【知識・技能】 ルネサンスやヒューマニズム、宗教改革の基本的内容やその歴史的意義について具体的な内容を理解している。原典資料や学習内容に關係する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ルネサンスやヒューマニズム、宗教改革の基本的内容やその歴史的意義について原典資料や学習内容に關係する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性】 ルネサンスやヒューマニズム、宗教改革の基本的内容やその歴史的意義について原典資料や学習内容に關係する様々な資料を活用し、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	5
	近代思想と自己のかかわり 【知識及び技能】 経験論と合理論、社会契約説や啓蒙思想、資本主義社会や実存主義、近代の世界観や人間観について基本的内容やその歴史的意義について理解している。 様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力・判断力・表現力等】 経験論と合理論、社会契約説や啓蒙思想、資本主義社会や実存主義、現象学、近代の世界観や人間観について理解している。 様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 経験論と合理論の基本的内容やその歴史的意義について様々な資料を活用し、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・近代科学の思考法 ・ベークンの思想 ・デカルトの思想 ・社会契約説 ・カントの思想 ・ヘーゲルの思想 ・幸福と功利 ・資本主義 ・実存主義 ・科学観の転換	【知識・技能】 経験論と合理論、社会契約説や啓蒙思想、資本主義社会や実存主義、現象学、近代の世界観や人間観について具体的な内容を理解している。原典資料や学習内容に關係する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 経験論と合理論、社会契約説や啓蒙思想、資本主義社会や実存主義、現象学、近代の世界観や人間観について原典資料や学習内容に關係する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性】 経験論と合理論、社会契約説や啓蒙思想、資本主義社会や実存主義、現象学、近代の世界観や人間観について原典資料や学習内容に關係する様々な資料を活用し、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	10
	日本の風土・精神文化と自己のかかわり 【知識及び技能】 日本の風土と精神文化について基本的内容やその歴史的意義について理解している。 様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力・判断力・表現力等】 日本の風土と精神文化について基本的内容やその歴史的意義について理解している。 様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の風土と精神文化について様々な資料を活用し、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・日本の風土と生活 ・日本における神の観念 ・神と仏 ・古代・鎌倉仏教 ・国学と日本文化 ・近代的国家への道	【知識・技能】 日本の風土と精神文化について具体的な内容を理解している。原典資料や学習内容に關係する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日本の風土と精神文化について原典資料や学習内容に關係する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性】 日本の風土と精神文化について原典資料や学習内容に關係する様々な資料を活用し、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○		7
	日本の近代化と生活観と自己のかかわり 【知識及び技能】 日本の近代化と生活観について基本的内容やその歴史的意義について理解している。 様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力・判断力・表現力等】 日本の近代化と生活観について基本的内容やその歴史的意義について理解している。 様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の近代化と生活観について様々な資料を活用し、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・啓蒙思想家の活動 ・国家と個人の衝突 ・近代的自我の成立と個人主義 ・近代日本の哲学者 ・現代日本と私たちの課題	【知識・技能】 日本の近代化と生活観について具体的な内容を理解している。原典資料や学習内容に關係する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日本の近代化と生活観について原典資料や学習内容に關係する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性】 日本の近代化と生活観について原典資料や学習内容に關係する様々な資料を活用し、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○		
3 学 期	定期考査			○	○		1
	現代的諸課題と自己のかかわり 【知識及び技能】 自然や科学技術、社会や文化かわる諸課題について基本的内容やその歴史的意義について理解している。 様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力・判断力・表現力等】 自然や科学技術、社会や文化かわる諸課題について基本的内容やその歴史的意義について理解している。 様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 自然や科学技術、社会や文化かわる諸課題について基本的内容やその歴史的意義について理解している。	・環境と倫理 ・生命と倫理 ・科学技術の発展とその課題 ・文化や宗教の多様性と倫理 ・国際平和と人間の福祉	【知識・技能】 自然や科学技術、社会や文化かわる諸課題について具体的な内容を理解している。原典資料や学習内容に關係する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自然や科学技術、社会や文化かわる諸課題について原典資料や学習内容に關係する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性】 自然や科学技術、社会や文化かわる諸課題について原典資料や学習内容に關係する様々な資料を活用し、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○		7
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教科： 公民 科目： 政治・経済 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年

教科担当者： H1・H2・F・A組（堀 良輔）

使用教科書：（『最新 政治経済』（実教出版）、2024ズームアップ政治・経済資料（ ）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、様々な資料から必要な情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 現代社会の諸課題の解決に向けて、様々な資料や情報を多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成及び社会参画を課題として、構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を目指して、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	現代日本の政治（民主政治・政治制度） 【知識及び技能】 民主政治の基本原理やそれに関連するわが国の政治制度について理解している。 様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 民主政治の基本原理やそれに関連するわが国の政治制度について様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 民主政治の基本原理やそれに関連するわが国の政治制度について様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・民主政治と法 ・民主政治の基本原理 ・民主政治のしくみと課題 ・世界のおもな政治制度 ・内閣と行政機能の拡大 ・地方自治と住民福祉 ・政党政治	【知識・技能】 民主政治の基本原理やそれに関連するわが国の政治制度について具体的な内容を理解している。原典資料や学習内容に関する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 民主政治の基本原理やそれに関連するわが国の政治制度について原典資料や学習内容に関する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性】 民主政治の基本原理やそれに関連するわが国の政治制度について原典資料や学習内容に関する様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	9
	日本国憲法と基本的人権 【知識及び技能】 日本国憲法と基本的人権について理解している。 様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 日本国憲法と基本的人権について様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 日本国憲法と基本的人権について様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・日本国憲法の成立と基本原理 ・自由権 ・平等権 ・新しい人権 ・安全保障と平和主義	【知識・技能】 日本国憲法と基本的人権について具体的な内容を理解している。原典資料や学習内容に関する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日本国憲法と基本的人権について原典資料や学習内容に関する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性】 日本国憲法と基本的人権について原典資料や学習内容に関する様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	C 日本の政治制度と政治参加 【知識及び技能】 日本の政治制度と政治参加について理解している。 様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の政治制度と政治参加について理解している。 様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の政治制度と政治参加について様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・政治機構と国会 ・公正な裁判の保障 ・選挙制度 ・世論と政治参加	【知識・技能】 日本の政治制度と政治参加について具体的な内容を理解している。原典資料や学習内容に関する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日本の政治制度と政治参加について原典資料や学習内容に関する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性】 日本の政治制度と政治参加について原典資料や学習内容に関する様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	7
	現代の経済社会 【知識及び技能】 現代経済のしくみについて理解している。 様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 現代経済のしくみについて理解している。 様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 現代経済のしくみについて様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・経済社会の変容 ・経済主体 ・金融の役割 ・財政のしくみ ・財政課題	【知識・技能】 現代経済のしくみについて具体的な内容を理解している。原典資料や学習内容に関する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 現代経済のしくみについて原典資料や学習内容に関する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性】 現代経済のしくみについて原典資料や学習内容に関する様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

2 学 期	現代の日本経済と福祉の向上 【知識及び技能】 現代の日本経済と福祉の向上のしくみについて理解している。 様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の日本経済と福祉の向上のしくみについて理解している。 様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本経済と福祉の向上のしくみについて様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・日本経済の成長と課題 ・中小企業と農業 ・消費者問題 ・公害問題 ・労働問題と社会保障	【知識・技能】 現代の日本経済と福祉の向上のしくみについて具体的な内容を理解している。原典資料や学習内容に関係する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 現代の日本経済と福祉の向上のしくみについて原典資料や学習内容に関係する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性】 現代の日本経済と福祉の向上のしくみについて原典資料や学習内容に関係する様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	7
	国際政治と諸課題 【知識及び技能】 現代の国際政治とその課題について理解している。 様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の国際政治とその課題について理解している。 様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の国際政治とその課題について様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・国際法 ・国際連合 ・人種・民族問題 ・日本の外交と国際社会での役割	【知識・技能】 現代の国際政治とその課題について具体的な内容を理解している。原典資料や学習内容に関係する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 現代の国際政治とその課題について原典資料や学習内容に関係する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性】 現代の国際政治とその課題について原典資料や学習内容に関係する様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	国際経済と諸課題 【知識及び技能】 現代の国際経済とその課題について理解している。 様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の国際経済とその課題について理解している。 様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の国際経済とその課題について様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・貿易と国際収支 ・外国為替市場のしくみ ・国際経済の動向 ・発展途上国の諸課題	【知識・技能】 現代の国際経済とその課題について具体的な内容を理解している。原典資料や学習内容に関係する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 現代の国際経済とその課題について原典資料や学習内容に関係する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性】 現代の国際経済とその課題について原典資料や学習内容に関係する様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○		7
	日本経済の課題と展望 【知識及び技能】 日本経済の課題と展望について理解している。 様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 日本経済の課題と展望について理解している。 様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 日本経済の課題と展望について様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・持続可能な地域社会 ・地域防災 ・財政健全化 ・持続可能な農業	【知識・技能】 日本経済の課題と展望について具体的な内容を理解している。原典資料や学習内容に関係する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日本経済の課題と展望について原典資料や学習内容に関係する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性】 日本経済の課題と展望について原典資料や学習内容に関係する様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○		
	定期考査			○	○		1
3 学 期	国際社会の課題と展望 【知識及び技能】 国際社会の課題と展望について理解している。 様々な資料を用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会の課題と展望について理解している。 様々な資料を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会の課題と展望について様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・難民問題 ・外国人労働者と共生 ・自動運転技術者を考える。 ・南北問題	【知識・技能】 国際社会の課題と展望について具体的な内容を理解している。原典資料や学習内容に関係する様々な資料から、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 国際社会の課題と展望について原典資料や学習内容に関係する様々な資料を多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性】 国際社会の課題と展望について原典資料や学習内容に関係する様々な資料を活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○		7
	定期考査			○	○		1
				○	○		合計 70